

平成28年度 前期自己評価

学校教育目標＝夢やあこがれを抱き、志の実現に向けて努力する霞翠っ子の育成

吉岐市立霞翠小学校

[到達度・充実度基準]

A：8割以上 B：8割未満～5割以上 C：5割未満～2割以上 D：2割未満

◇ 学校経営重点指導事項について

★やさしい子の育成

達成率

①支持的風土のある学級経営の充実	A	B	C	D	平均点	昨年度7月
・良さに気づき、認め、広げ合う学級経営	33%	67%	0%	0%	83.3	82.1

②道徳教育の充実	A	B	C	D	平均点	昨年度7月
・重点指導事項（生命尊重・人権尊重・思いやり等）の指導の充実	38%	63%	0%	0%	84.4	81.3
・道徳の時間の充実（「ふり返る時間」の充実）	0%	83%	17%	0%	70.8	75.0

③生徒指導・教育相談・特別支援教育の充実	A	B	C	D	平均点	昨年度7月
・いじめ、問題行動等の早期発見と迅速かつ適切な指導及び再発防止	44%	56%	0%	0%	86.1	83.3
・学校や学級のきまりの遵守	22%	56%	22%	0%	75.0	84.4
・定期的な校内委員会の開催と支援を要する子の共通理解	38%	63%	0%	0%	84.4	80.6
・一人一人のニーズに応じた支援及び指導の充実	0%	100%	0%	0%	75.0	66.7

④あいさつ・コミュニケーション力の向上	A	B	C	D	平均点	昨年度7月
・朝のあいさつ、校内、校外でのあいさつ指導	40%	60%	0%	0%	85.0	82.5
・ていねいな言葉遣いの指導	20%	70%	10%	0%	77.5	70.0
・自主的、自立的行動の指導	0%	89%	11%	0%	72.2	77.5
・学校生活のあらゆる場面における表現力向上の指導の工夫	10%	80%	10%	0%	75.0	75.0

成果

- 年度当初に、緊急を要する事案があったが、即座の保護者との連携、職員の共通理解及び共通実践により改善された。
- 挨拶や反応については、繰り返し機会を捉えて指導を継続しているので、児童の実践が伴っている。
- 学級における大きな喧嘩等がなく、どの学級も落ち着いた雰囲気の中、学校生活が送れている。支持的風土の醸成を基本とした学級経営がなされていることが要因だと推察できる。
- 生活指導全体会が、週1回定期的に行われているので、支援を必要とする児童の把握や対応等共通理解ができています。

課題

- ①道徳の時間の指導については、予定どおりできているが、ふり返りの時間の充実にはまだつながっていない。
- ②学校や学級のきまりを定着させることが不十分である。
- ③自主・自立的な行動の項目が伸び悩んでいる。

対策

- ①資料から離れるまでに時間をかけすぎないこと、書かせるなどの手立てをとること、必ずしも発表までにつなげなくてよいことを共通理解し、後期からの実践につなげていく。
- ②決まりを守ることで、どのような良いことがあるのか、決まりを守れないことで、どのような困ったことが生じるのかを説いていく必要がある。また、守れた時に認めてあげるのも一つの方法である。
- ③自主自立を促すためには、どんなことを行えば良いのか児童に具体を示す必要がある。児童が率先して行った事例を取り上げ、そのことを全校に広げることで改善が図られると思われる。

★かしこい子の育成

達成率

①確かな学力を身に付けさせる学習指導法の工夫・改善	A	B	C	D	平均点	昨年度7月
・問題解決的な学習指導を基本とした、一人一人が分かる授業の実践	13%	75%	13%	0%	75.0	71.9
・発達の段階に応じた書く活動の位置づけ（活用力や表現力につなげる）	13%	75%	13%	0%	75.0	71.9
・基礎・基本の定着の指導	17%	67%	17%	0%	75.0	71.9
・体験（疑似体験含む）活動の重視	13%	88%	0%	0%	78.1	84.4
・意欲的な読書活動につながる指導や場づくりの工夫	14%	57%	29%	0%	71.4	68.8

②自己表現力の向上	A	B	C	D	平均点	昨年度7月
・表現する機会の保障と表現法の指導の工夫	22%	56%	22%	0%	75.0	75.0
・学校行事を活用した指導の工夫	33%	56%	11%	0%	80.6	72.2

④家庭と連携した家庭学習習慣の確立	A	B	C	D	平均点	昨年度7月
・家庭学習の時間の質の充実のための工夫（基礎の定着と授業につながる家庭学習）	0%	100%	0%	0%	75.0	71.4

成果

- 問題解決的な学習指導が定着し、児童も学習過程が分かり、慣れてきている。
- 自己表現力の向上では、学校行事や集会の機会を捉えて、感想を聞く時間を設定している。内容的には稚拙なものもあるが、進んで発表しようとする意欲は見られるようになってきている。

課題

- ①学習指導法の工夫・改善については意識化は図れているものの達成度が伸び悩んでいるのは、成果が十分に目に見えていないからだと思われる。
- ②読書指導が十分ではない。（読書量）
- ③チャレンジタイムの時間の確保と内容の充実が十分ではなかった。
- ④個別支援の成果がなかなか表れない。

対策

- ①今やっている手立てを繰り返すしかない。顕著に結果にはつながらないかも知れないが、少しずつ改善が図られるはずである。2人体制の教科については、その効果的な活用も図っていききたい。
- ②朝の読書活動は、定着してきた。（読書をしようとする雰囲気がある。）高学年で特に本を借りる時間を設定することと家庭学習の工夫と結び付けていきたい。
- ③チャレンジタイムの評価規準が明確であるので、このような課題が確認できる。確実な時間の確保が必要であるので、先を見通した教育課程の編成を行っていききたい。
- ④昼休みや放課後まで活用して、個別支援は行えている。その時は、改善が図られているが時間を置くと元に戻る。家庭との連携も図りながら指導を進めていく。

★げんきな子の育成

達成率

①最後までやりぬく喜びを味わわせる指導の徹底	A	B	C	D	平均点	昨年度7月
・根気のいることを最後までやり遂げる指導の徹底	0%	88%	13%	0%	71.9	77.8
・清掃や整理整頓を基軸に置いた環境整備の指導の徹底	10%	70%	20%	0%	72.5	77.5

②体力づくりの工夫と充実	A	B	C	D	平均点	昨年度7月
・体力づくりにつなげるパワフルマラソンの指導の工夫	11%	78%	11%	0%	75.0	69.4
・集団登校集合場所からの歩いて登校の指導の徹底	25%	75%	0%	0%	81.3	77.8
・体育の時間の指導の工夫	0%	83%	17%	0%	70.8	71.4

③食育指導の充実	A	B	C	D	平均点	昨年度7月
・楽しく、望ましい給食習慣の定着	40%	60%	0%	0%	85.0	77.5
・個に応じた食量の食べ切ることの徹底	30%	60%	10%	0%	80.0	80.0

④健康・安全であるための指導の徹底	A	B	C	D	平均点	昨年度7月
・少しの体調不良では休まないための心の教育の徹底	14%	86%	0%	0%	78.6	81.3
・ノーメディアの確保とメディアに関わる時間の約束の徹底	0%	57%	43%	0%	64.3	
・基本的生活習慣（早寝、早起き、朝ご飯、歯磨き、排便）の確立（家庭との連携）	0%	88%	13%	0%	71.9	71.9

成果

- 集団登校に参加できる児童が増えてきている。PTAで呼びかけたり、給食の時に全校児童に呼びかけた成果の現れである。
- 食育指導の徹底が図られるようになってきた。気づいた時に担当が全体の場で共通理解を図ったり、実際場で児童への呼びかけを通して周知を図ったりしていることが要因である。給食班も全体で考えて編成しているので、食の状態を全員で共有できる。

課題

- ①「最後までやり喜びを味わわせる指導の徹底」の項目が伸び悩んでいる。
- ②集団登校に参加できる児童が増えた反面、雨の日で車に登校したり、集団下校に迎えがあったりする児童は固定化しつつある。
- ③朝ご飯をほとんど毎日食べる児童は92.5%、身体がだるい、疲れる、イライラするという症状を訴える児童が、1割程度存在する。

対策

- ①時間がかかることや地道な取組が必要なこと、単純な作業が繰り返されることには、成就感を味わわせることが必要である。やってできた経験を増やしていきたい。
- ②児童への啓発は定期的に行えているので、家庭の協力を得るために繰り返し呼びかけたり、そうすることでどんな心が育つのかを伝えたりしていきたい。集団下校時の用事があつての迎えについては、事前に連絡を入れてもらう必要がある。集合場所までは歩いて帰る子が大半なので。
- ③社会体育、メディアとの関わり、家庭の事情等原因は多岐にわたると考えられる。学校での様子をよく観察しながらアドバイスをしたり、家庭との連絡を取り合ったりして、改善を図っていきたい。

その他

- ①PTAへのプールの貸出は、機会の不調で短期間になってしまったが、水質の衛生が担保できればできるだけ保護者の要望に添うようにしたい。
- ②ノーメディアデーについては、保護者も子どもも意識が高い。家庭内で呼び掛け合いながら取り組んでいるのが保護者の声からも分かる。今後も工夫を加えながら定着できるようにしていきたい。

Ⅱ 各教科・領域の指導について

7
月

〈カリキュラム・個別指導について〉

- ・個別指導が必要な子どもの時間確保が難しかった。しかし、昼休みなどを利用してがんばる子どもの姿は見られた。
- ・どの教科も計画的に進めることができた。授業では、もっと個別支援が必要だったと反省している。
- ・全部の教科の教材研究を密にすることがなかなかできませんでした。個別支援にもっと力をいれて充実させたいです。
- ・行事と教科指導のバランスがうまくいかないこともあったが、内容的には追いついた。既習事項の習得ができていない子もいるので、サマースクールや夏休みの課題で補充する。
- ・国語、算数はなかなかカリキュラム通りに進まず、ぎりぎりに終わった。道徳は子どもなりによく考えて発表するようになった。

〈チャレンジについて〉

- ・漢字チャレンジが18まであり、チャレンジの回数より多く無理があった。

〈校内研修について〉

- ・校内研究の計画などが遅れて迷惑をかけている。夏季休業中に遅れを取り戻す。

Ⅲ 生活指導（交通安全・防災防犯を含む）について

7月

〈室内の過ごし方・廊下歩行について〉

- ・休み時間の過ごし方が気になっている。
- ・廊下の歩き方は、随分よくなってきたようだ。
- ・廊下歩行は、「はさみ歩き」のおかげでだいぶよくなってきているが、まだ、室内で大声を出す子どもがいるので注意していきたい。

〈生徒指導について〉

- ◎きまりを守っていなかったり、友達とのトラブルがあったりしたときの指導には、時間をかけた。4月よりもトラブルが少なくなったように感じる。落ち着いた行動もできるようになってきた。
- ◎学級で交通安全や防災防犯について話す機会があまりなかったので、全体場で指導していただいてありがたいです。
- ◎特に安全指導を重点的に行った。生活科で、学校周辺の安全について実際にみんなで歩いて確認したので、夏休みの生活で生かしてほしい。
- ◎4月、保護者と一緒でないと教室には入れない子がいたが、現在は大きく改善された。担任の先生をはじめ、それに関わる先生方の指導の素晴らしさを感じる。霞翠は子ども一人一人が学校に楽しさを感じられる、そんな素敵な学校なのだと誇りに思う。
- ・生活指導担当として、もっと給食の場や集会の折に全体指導を行うべきだった。特に、連休前や、地域の行事前などにきまりを守る指導を行っておくべきだったと反省している。
- ・代表委員会で決まった「おおきなスイカあいさつ」「節水活動」の啓発ができていないので、第Ⅱ期に動き出したい。
- ・「指示は1回で通しなさい。」「話を聞きなさい。」等、同じことを言い続けなければいけない児童がいる。言い続ける指導と共に、児童理解を進めるために、専門機関との連携が図れないだろうか。

〈集団登校について〉

- ・集団登校では、昨年と比べて車での登校がなくなり、歩いて登校するようになった。

Ⅳ 特別活動(委員会活動・クラブ活動・児童会活動)について

7月

〈委員会活動について〉

- ◎それぞれの委員会が少ないながらも、よく頑張っていると思う。
- ◎囲碁・将棋クラブではボランティアの方が来てくださって、子どもたちも楽しんでいました。もっと将棋と囲碁について勉強して、クラブの内容を充実させていきたいと思います。
- ◎高学年の児童が、意欲的に活動してくれるので大変助かる。
- ◎特に困ることもなく、スムーズに進めることができた。体育委員会は、時期によって何をすればよいかわかることがあったので、計画を再度見直させていく。
- ・運営委員会の活動では、長期の見通しを持って進めることができなかったのも、見通しを持って声をかけていきたい。ものづくりクラブは、教師側が、準備が不十分な点があったので、しっかり準備をして、活動させたい。
- ・食育月間のクイズなど、委員会の子どもたちが積極的に取り組んでくれた。毎日の仕事についても、子どもたちがよく頑張ってくれたが、目が行き届かないところも多かったので反省している。

V 保健指導(給食・食育を含む)について

	〈保健指導について〉 ◎保健集会で、楽しく分かりやすく歯の大切さについて学ぶことができました。給食時間のクイズなど子どもたちは楽しんでいました。 ◎山口先生より折りに触れて話をしていただきありがたかった。 ◎山口先生の保健指導のお陰で、子ども達の健康に関する意識も高まっていると思う。
7月	〈給食・食育指導について〉 ◎先生方にサポートしていただきながら、給食指導を進めることができた。 ◎担当の先生が、目配り、気配りをされて、よりよい給食指導ができたと思う。 ・給食班に遅食・少食・偏食・食事のマナーが身につけていない児童が多く、早く食べるよう促しながら、マナー等について指導することが精一杯で、楽しい給食にはほど遠く、子どもたちに申し訳なかった。後期の班編制では、もう少し考慮する必要があると思う。 ・授業や給食前後の声かけ、ありがとうございます。特に姿勢の悪い子には、意識して自分で気づかせる手立てを考え中です。 ・全校欠席0の日19日。9月からはもう少しがんばらせたい。 ・頑張り班の後の食器や食管の片付けや台ふきは、給食委員会の当番活動に入れてもいいのではないだろうかと思う。職員は、休憩時間だし、用事があるときなどすませなくて困ることがあった。他の委員会は、昼休みも当番活動を行っている。

VI 環境美化について

7月	◎机の中とロッカーの整理整頓を意識させていった。十分といえない子もいるが、毎日声をかけることで、きれいにしようという習慣が少しずつついてきた。 ◎5・6年生がボランティアで清掃をしている姿を4年生に伝えていきたいです。教室環境をもっと改善していくように努めます。 ・掃除時間、おしゃべりが目立つ。掃除「だいすきさ」を徹底させたい。 ・教室環境の美化に手一杯で、学校全体の環境美化になかなか取り組みませんでした。(学級園など)任せっきりで申し訳ありませんでした。
----	--

VII 教務関係(日課・時間割・月/週行事計画等)について

7月	◎日課、週行事等を早めに知ることができて、先の見通しが立てやすいです。 ・7月のプール参観後、学級懇談会、AED講習会は時間的に長すぎて、保護者もきつかったのではないかと思います。←(来年はフッ化物洗口の保護者説明会が必要なくなるため、今年のようなことはなくなると思います。)
----	--

VIII その他(今後改善が必要なこと)

7月	・漢字チャレンジの取り組みに、少しでもゆとりが欲しいです。 ・子どもたちの持ち物に名前がなく、落としても気づかない。記名指導が必要。 ・1年目で、いろいろとつかみきれないところがあり、体育担当としても、生活指導担当としても先生方にご迷惑をかけることが多かった。また、みどりチャレンジの内容についても把握が不十分で、後半に慌ててしまい、達成率も低かったと反省している。 ・1年生の7月の授業参観での懇談会は、今回のように親子給食がスムーズに進めば、昼休みに栄養の話とともに行うことができると感じた。少し、詰め込みにはなるが、その方が確実に全員の保護者に伝えることができると思う。
----	--